

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	大川市			代表者名	倉重 良一
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画課	連絡先電話番号	0944-85-5553
担当者役職	企画主査	担当者氏名	永田 理紗	連絡先E-mail	
住所	831-8601 福岡県大川市大字酒見256-1				

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	大川市データ活用研修事業
概要	職員のデジタル化に対する苦手意識を払拭するとともに、データやデジタル技術等を活用して業務や職員の働き方を革新する意識醸成のための支援をお願いしたい。		
支援を求める分野	オープンデータ EBPm 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 働き方		

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	189	令和7年1月28日	事前打合せ	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年11月5日	事前打合せ(実地)	15時00分	17時15分	
				活動時間（分）	135
2-2.	会場名	大川市役所	最寄駅	西鉄柳川駅	
派遣場所	所在地	福岡県大川市大字酒見256-1	最寄駅からの交通手段	西鉄バス（西鉄柳川）⇒西鉄バス（中津島本町駅前）⇒徒歩	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	関 治之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	これまでのDX研修はツールやDXの進め方を中心とした研修が多かったが、ユーザー（市民）目線での職員の意識改革や自治体側の状況も踏まえた支援内容であった。
アドバイザーへの要望事項	形式としては管理職と一般職に区分し、より自分事として考えてもらうためにワークショップの実施と職員へのDX研修を通し職員一人ひとりが意識改革をできるようにお願いしたい。

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	140人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	139		1	

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	これまでは一部の職員に対するDX研修のみで、デジタルに対する苦手意識から変革を躊躇するなどの職員に対し、デジタル技術の活用やマインドセットにより、全庁的なDXに対する意識向上を図ることが必要。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員一人ひとりのDX推進に対する意識改革のために研修をする必要がある。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	デジタル分野は小さな領域でも成果がでにくい、小さなことから良いので、まずやってみる という考えと行動を組織全体の課題として、解決に向けて共に取り組んで行く必要があるという アドバイスがあった。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	職員一人ひとりのDX推進に対する意識改革を行っていく方向性が少し見えてきた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 研修に向けて講師と相談・確認のうえ、取り組んでいきたい。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結 果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 予算は組織の全体的な考えや事業計画に基づいて、段階的に実施していく必要があるため、できる ところから取組を行っていく予定。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭数を減らすのではなく、筋肉質な組織にしていく</li> <li>・組織全体としてあるべき姿を設計し、言いたいことが言える組織風土の確立</li> <li>・職員一人ひとりがサービスデザイン思考や変革の意識を持ち、新しいやり方に挑戦すること。</li> </ul>	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可  [https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

アドバイザーとともに、ワークショップの事前確認 ※支援内容は別添「議事録」に記載

